

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2019年
1月

161号



宗教法人 真生会

平成三十一年信仰目標

徳分を高める

『法施、身施、
財施の実践』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）



開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

高齢化社会を迎え、あなたはどんな老人になりたいですか？今のあなたはどんな老人ですか？

一、私は寂しく孤独な毎日です。二、ワクワク楽しく年を忘れる毎日です。さて自分は一でしよ

うか、二でしようか。『文鎮老人!!』文鎮ぶんちんろうじんのような老人とはどんな老人でしょう。年を取ると動けないから、働けないから役に立ってないわけではありませんが。文鎮はそこにあるだけで、動かなくても役に立っています。しゃべれなくても、動けなくてもそこにいて価値のある存在感のある人間になります。しかし、文鎮老人になるためには、若いうちからの努力が必要です。一朝一夕ではかきません。今日の仕事を喜び、精一杯努力をし、親や家族や周りの人の気持ちを汲み、常に施し多く、人を生かす生活をするのです。遅くはありません。気が付いた今日からが幸福のスタートです。

(真実に生きる、ひかり100号より)

ご真教法話

会長 田中庸仁
たなか ちゅうねい

平成三十一年信仰目標

徳分を高める

『法施、身施、
財施の実践』



◇今年の信仰目標

今年の信仰目標のメインテーマは、昨年引き続き「徳分を高める」とし、サブテーマを「法施、身施、財施の実践」と掲げました。なぜならば、人の幸不幸は徳次第だからです。

どんなにお金があっても、お金では解決しない問題もたくさんあります。社会的地位が高くても人には言えない苦しみを抱えている人もあります。人生の機微きびが分からずに苦勞きらうしている人もあります。高学歴でありながら、

財はあっても、地位が高くても、学歴があっても、徳がないくらい悲しい、つまらない、寂しいことはないのです。人生何よりも徳が大切であり、徳分を高めれば、徳分に応じた幸せが得られるのです。徳分がなく徳の器が小さければ、折角の幸せも、財も地位も学歴も溢れ出てこぼれてしまいます。有徳の師である先達様は徳の大切さを教えられています。

「徳が本なり財は末なり」

「徳は将来を潤す」
うるお

「徳積みめば、ものは自由になるものを徳も積まずに困る世の人」

「裸で来て裸で帰る人生だ。徳を積み積み罪を作るな」

自分の食べるため、生きていくために一生懸命働くだけなら、草場の虫けらや野生の動物と変わりません。自分以外の世のため人のために徳を積み、お役に立ってこそ人間としての価値があるのです。

徳を積む方法の第一は「ほどじ施し」です。お釈迦さまが何度も生まれ変わられながら、悟りを開かれるまで修行し続けられたのが六波羅蜜の実践です。六波羅蜜の教えの第一番が「ふせ布施（施し）」の実践です。

◇徳分を高める三つの施し

布施には「法施^{ほうせ}、身施^{しんせ}、財施^{ざいせ}」の三つがあります。

一番徳が積めるのは「法施」教えを人に伝え、法縁に人を誘い導くことです。八十年の長い間、金銭物質で衣食住のすべての生活の面倒を見た功德の百倍、千倍、百×千×万×億倍の計り知れない徳が積めるのです。

第二は「身施」身の施し、即ち仏さまのことに関するご奉仕です。お寺や教会の掃除、御宝前や法師のお給仕、参拝者のお世話、法座や法要のお手伝いやお役のご奉仕です。

第三は「財施」お金や物の施しです。教えが広がり、悩み苦しむ人が救われるために身を削って大切な財の徳を積ませて頂くことです。

◇徳積み の 順番

經典に「三宝に供養し、普く衆生に施し」とあります。三宝とは「仏、法、僧」のことです。まず、仏さまのこと、法とは教えが広がるためのこと、僧とは僧伽（さんが）教えの仲間、法友が幸せになるためのことに精一杯の布施を

し、その上で貧困や差別、災害などで困っている「普く衆生」世の中の多くの人々に援助の施しをさせて頂くのが布施の順番です。

◇結果が出るまで徳を積む

今年七十七歳になる岐阜教会の婦人部長さんのお話です。

「先生、今年の十二月に運転免許の更新があります。何とかもう一回だけ試験に受かって免許が頂きたいので徳積みのご供養をお願いします」と四月の立教祭にはご本尊さまの特別胎内仏供養、十月の大観音さま胎内仏供養、教会での日参祈願など何度も何度も免許更新のための祈願供養をしてこられました。

なぜかというと、年齢の問題だけではなく、この方は二十年ほど前に目の網膜の病気をされ視力が弱いのです。今までもギリギリのところまで視力検査が通ってきましたが、メガネで視力をカバーしたり、目の運動やリハビリ、手術をしてよくなることのない特殊な病気なのです。いつかは免許の返上をしなくてはならないのですが、家庭では農家の仕事や買い物など車の運転は欠かせません。信仰面では、支部会員さんに乗せて法座へお参りしたり、お役のご奉仕

も車があつてこそ果たせるのです。

十二月七日の期限まで何度でもチャレンジできるので、私もお会いするたびにできるだけ一心行で目を拝ませて頂きました。そして、彼女も今まで以上に
ご法の徳積みをさせて頂くうとお誓いし、足繁しげく真生寺や教会に通われました。
しかし、十一月二十八日に一回目、十二月五日に二回目の試験を受けましたが、
二回とも視力検査は不合格でした。

◇信念なくば効果なし

万事休す。医学的には視力を回復する手立てがないので、諦めかけたのですが、気を取り直し「開祖さまは、『きつとよくなる、なんとかなる』といつも教えて下さった。信念なくば効果なし。必ず免許を取ってご法と法友のお役に立たせて頂くんだ」と腹を決めたのです。

今日まで婦人部長としてのお役ご奉仕や支部会員の皆さんにご法を伝え、ひかりの本を毎月届け、お参りの送り迎えをし「法施」の徳も一生懸命頑張つてこられました。そして、何度も何度も財施の徳も積んでこられました。

いよいよ十二月七日がタイムリミット、最後の試験前日の十二月六日、本当は少しでもよく見えるように目を使わず、目を休めておこうと思うのが人情ですが、最後は徳次第と教えを信じ、自分のできる徳積みをしようと思われ決心されたのです。

それは、毎年会長先生がお正月に向けて書かれる「仏さまの声」短冊の封筒を作るお仕事を頂くのですが、まだ完成していませんでした。目を使う細かい仕事でしたが、こんな時こそ目を使って徳積みをさせて頂こうと思ひ、常識とは正反対の実践をされたのです。「人事を尽くして天命を待つ」とは執着することなく、「答えは仏さまにお任せ」という気持ちで最後の視力検査に臨まれました。十二月七日の午後、私に電話がかかり「会長先生、お陰様で免許の更新ができました！また、これから三年間、気をつけて喜んで精進します」とうれしい結果報告がありました。ここに法施、身施、財施の徳積みの有り難さが証明されました。みなさん、「行えば実る」信念をもって徳積みの実行をすれば誰でも、幸せになれるのです。平成三十一年は「改革の年」です。去年までの自分を改革し、勇氣と希望をもって精進しましょう。

今月の運勢（2月）

（2019年2月4日～3月5日）

一 白水星

順風満帆の時だが、油断は禁物。純粹な心で陰日向なく誰にでも差別なく慈悲をかけること。事を成すに当たっては一貫性が大切です。最後の仕上げをしつかりすること。

二 黒土星

自分の内面を整える時。動から静に切り替えて、大きな事や新しいことはしない。英気を養いパワーの充電を心掛ける。周囲の状況をよく見究めて計画を立てる時。

三 碧木星

運気は強く勇壮活発に輝けるとき。新芽を一

斉に出し活動を開始しよう。但し、勢いに任せて乱暴になってはいけない。自分をよく律して正しい道を歩めば、前途は洋々である。

四 緑木星

大きな収穫を得る時である。心に欲や私心がなく、誠があれば天の祝福が得られる。危険な冒険も心中に一貫した誠心があれば大いに前進して案ずることはない。

五 黄土星

変化の時を迎えている。一旦立ち止まり、状況をよく見究めて、思い切った改革をする時です。行く手を阻む

大きな山があってもひるむことなく果敢に進めばよい。

六 白金星

志を同じくする仲間と力を併せ、情熱があれば行き詰った状況を打破し、困難を乗り越えることができる。但し、仲間を集めるには世間の評判ではなく、自分の目で確かめること。

七 赤金星

谷底にあつて進退窮限り、困った状態であるが心配はいらない。これ以上下がることはないのだからと発想の転換をして困難を楽しめばよい。一旦決心したことはいかなる困難に

襲われても言い訳せずやり抜くことだ。

八 白土星

やるべき目標がないと何事も成功しない。足元がしつかりしていないと転覆崩壊の危険がある。時の流れに逆らわず、積極的に動かない方がよい。ひたすら言動を慎み、慎重な態度を保つこと。

九 紫火星

強固な組織や会社も獅子身中の虫によつて崩壊することがある。意見の相違によつて邪魔をしたり、仲間と相いれない異質な存在は慎重かつ断固として取り除かねばならない。

しあわせ眼鏡

面白きこともなき世をぞもし
ろく (上句、幕末の志士、高杉晋作の歌)
すみなすものは心なりけり
(下句、勤王の女流歌人、野村望東尼)
この世を面白くさせるのも、
面白いことが無い世にするの
も、自分の心の持ち方次第だ
自分が笑顔になれば、周囲も
笑顔になるものです

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1 - 9 - 5
T E L 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。